



社会福祉法人  
**双葉幼児園**

強くなやかな身体と心 考える頭 豊かな感性

— 子どもらの笑顔輝く保育園 —

基本理念

「保育は子どもの幸せのためにある」そのための最大の保育環境は「保育者自身」であることを基本とし

- 一、子どもの可能性をどこまでも信じぬくこと  
「子どもの力を決めつけてはいけない」  
「あるがまま、まるごと受け入れよう」
- 一、常に子どもから学ぶ謙虚な姿勢をもつこと  
「子どもの発想を尊び、保育者自身を押し付けず、常に自らを磨く」
- 一、子ども自ら伸びる力と意欲を引き出す保育を目指す



— ねがい —

- ・自分の足であるかせてほしい。  
たとえ、何處ころんでも、どんなにおそくても。
- ・自分の手でやらせてほしい。  
たとえ、どんなにきずをつけても、どんなに下手であっても。
- ・自分の頭で考えさせてほしい。  
たとえ、どんなに間違っているても、その間違いが、必ずその後の育ちに役立ってくれるのだから。



「リズムあそび」

楽しい音楽のリズムに合わせて、子どもたちに親しみのある色々な動物に模して、「走ったり」「止まったり」「跳んだり」「転んだり」「這ったり」「舞ったり」し、また、雨や風、嵐など自然現象を身体で表現したりするうちに子どもの体の骨や筋肉、関節、神経系の発達を促し、同時に自然への認識も深めていきます。

「水、泥、砂、土」

皮膚からの水刺激をたっぷり受けた子どもは、自律神経がたくましく育ちます。はだし保育の効能も同様です。自律神経とは、生きる力を支配しているところ。薄着で戸外の風にあたり、水たまりに入って遊び、脳に「快」の刺激を与えることで、自律神経がたくましくなり、虚弱な体質も軽減するといわれています。土、砂、泥遊びも同様です。子ども達の大好きな遊びであり、能動的に遊べる、「天然の遊具」です。



「描画」

子どもが描く絵は、心身の発達・認識度、また、その時その時の子どもの内面を表します。描画を見ることで、子どもの発達、最近の様子などを読み取り保育のあり方、子どもを取り巻く環境等を分析し、改善点を探っていきます。